

寺社を巡る会

活動記録書

開催日： 令和5年2月10日(金) 天候：雨	開催テーマ： 「五木寛之・百寺巡礼」DVD鑑賞
開催場所： 金沢公会堂多目的室	記入者： 熊谷 滋子
参加人数： 会員 26名、準会員 5名 合計 31名	
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： DVD鑑賞前に配布した「20周年記念集合写真集」の写真をプロジェクターで映し出し、過去の出来事を懐かしく振り返った。これをもって記念行事を終了します。 DVD鑑賞「五木寛之・百寺巡礼」 【永明寺】 島根県鹿足郡津和野町 曹洞宗 創建：応永27(1420)年 歴代津和野藩主吉見、坂崎、亀井の菩提寺で島根県最古の別格大禅院である。 水戸光圀公の師、心越禅師の揮毫と伝えられる扁額が掲げられたケヤキの棟門づくりの山門は、津和野城の総門を移したと言われる。現存する最も古い建物は江戸時代に建てられた茅葺きの本堂である。本尊は釈迦如来坐像で両側に普賢菩薩、文殊菩薩が安置されている。本堂裏には一代限りで途絶えた悲運の武将として知られる坂崎出羽守の墓がある。山門そばの墓地には津和野出身の文豪森鷗外の墓がある。軍医総監で小説家でもあった森鷗外の遺言どおり“森林太郎墓”とだけ刻まれている。 【富貴寺】 大分県豊後高田市 天台宗 創建：伝養老2(718)年 富貴寺のある国東半島は朝鮮や中国の文化が流入し神と仏教が巧みに合体していった神仏習合の歴史を感じさせる。宇佐八幡宮の境内にあった弥勒寺の僧侶が多くの寺院を建立した。その中の“落谷”にできた坊のうち唯一残ったのが富貴寺である。大分県では数少ない国宝建造物の富貴寺大塔と呼ばれる阿弥陀堂は、一間四面で宝形造り九州最古で平安時代作と伝えられる。本尊は木造阿弥陀坐像、両脇には白山神社に祀られていたと言う白山妙理大権現、観世音菩薩が侍しており神前読経が行われている。大分県は全国に点在する磨崖仏の約8割がある。最も有名なものは7～8メートルある熊野磨崖仏で、不動明王と大日如来像が彫られている。 【羅漢寺】 大分県中津市 曹洞宗 創建：大化元(645)年 日本三大五百羅漢の一つである。岩山をくり抜いて作られた「青の洞門」と呼ばれる道は菊池寛の「恩讐の彼方へ」で知られ、江戸時代に禅海和尚が30年をかけて開いた道で羅漢寺に向かう人の大きな助けとなった。大化元(645)年にインドの僧、法道仙人が修行地と定めた事が寺のはじまりである。洞穴を利用した無漏窟は山岳修行の場で中には500本の羅漢像、3770体の石仏があり願い事を記したしゃもじが奉納されている。南北朝時代諸国をさすらった禅僧と、中国から来寺した臨済宗祖円龜昭覚が力合わせ、一年余りで五百羅漢像を延元4(1339)年に造立したとされている。本堂は岩窟をそのまま取り込んで建っている。足利義満命により本堂は建立されたが、焼失し昭和44(1969)年に再建された。 羅漢寺が百寺巡礼の最後100番目の寺、百寺巡礼DVD鑑賞の始まりは平成22年(2010)8月奈良室生寺、13年間で旅の結願となった。	
参加者の状況・意見など： 冷たい雨が降る中ではあったが、多くの参加者があった。	
次回の予定： 令和5年3月2日(木) 10時京急富岡駅集合 テーマ：別荘文化発祥の地・富岡と宮司の講話	
その他 今回をもって百寺巡礼が終了した。次回からは新たなものを鑑賞すべく検討していくことにした。 最後に今年のバス探訪の実施について今のような状況の場合参加したいかどうかの問いに、参加者の大多数が参加希望であった為に実施の方向で進めていくこととした。	